

防災特集

～今すぐにはできる
災害への備え～

広報

ながよ

6

June

No.795

CONTENTS

- 特集
- 2 防災特集
- 6 ながよを知らう
ウォーキングと
歩いて一句!気軽に五・七・五!
を開催しました!
- 10 Nagayoの情報通
- 18 長与よかとこめぐり
- 19 子育てガイド
- 23 暮らしの情報
- 29 インフォメーション
(各種イベント・講座情報)
- 33 スポーツ広場
- 35 図書館だより
- 36 健康テラス
介GOの部屋
- 37 カレンダー
- 38 緊急連絡先
相談窓口

広報ながよは、
以下のコンテンツから
ご覧いただけます

マチイロ



nagasaki
e-books



マイ広報紙



1 長与町消防団からのお知らせ

今年に入り、町内で火災が多発しています!

過去10年間で、長与町では年間平均して8件の火災が発生していますが、本年は5月12日時点で、すでに9件の火災が発生し、うち7件に消防団が出動しています。町民の皆さま、今一度「火の用心」にご協力をお願いします。



2 在宅避難について

今年も6月を迎え、集中豪雨や台風による災害が心配される時期になりました。ご自身の災害への備えは十分か、もう一度確認してみましょう。

「避難」とは、「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。自宅や親戚・知人宅で安全を確保する「在宅避難」も考え、準備しておきましょう。

(1) 避難先における環境の違い

	大地震時の 避難場所 (小・中学校体育館など)	風水害時の 避難場所 (公民館施設など)	在宅避難 (自宅や親戚・知人宅)
目的	長期的な避難生活	一時的に身を寄せる	短期～長期の生活
1人あたりのスペース	せまい(2㎡程度)	せまい(2㎡程度)	状況に応じたスペースの確保が可能
プライバシーの確保	難しい	難しい	確保しやすい
水・食料	最低限の備蓄 自分で確保	自分で確保	自分で確保
断水時のトイレ	仮設トイレ 携帯用トイレ	携帯用トイレ	自分で確保
ペット	屋外の同行避難	屋外の同行避難	いつもどおり

(2) 在宅避難に備え、準備しておこう

- ☑ 飲料水 1人1日3L、3日分で1人9Lが目安
- ☑ 食料品 クラッカーや缶詰など調理せずに食べられるもの、食べ慣れているもの
- ☑ 携帯用トイレ 1人1日5個、3日分で1人15個が目安
ホームセンターなどで購入できます
- ☑ 家族に合わせた準備品
常備薬、メガネ、着替え、おむつ、補助器具、
ミルク、哺乳瓶、離乳食、生理用品、スプーン、
サランラップ、ウェットティッシュ、ごみ袋 など



3 長与町からの防災情報の確認方法

①

フリーダイヤル

TEL: **0800-200-3312** (無料)
上記番号にお電話いただきますと、最新の町内放送の内容が確認できます。
フリーダイヤルとなりますので、電話料金は発生いたしません。



②

登録制メール

町内放送(防災行政無線)の内容がメールで配信されます。
次のURLもしくは、右にあるQRコードにアクセスし、
ご登録をお願いします。

<http://mobile.nagayo.jp/mail/mobile/>



登録方法

- ①迷惑メール防止機能をご利用の場合は、「mobile@mobile.nagayo.jp」からのメールを受信できるように設定しておいてください。
- ②「サービスを始めてみる」を押し、空メールを送信。
- ③メールが届いたら、記載されているURLにアクセス。
- ④配信希望情報を選択後、「広域地域から選ぶ」を選択。
- ⑤登録完了!

③

SNS



LINE 公式アカウント
ナガヨ ミックン



Twitter 公式アカウント
ナガヨ ミックン



Yahoo!
防災速報 アプリ



④

ホームページ



「長与町 防災」で検索すると、長与町防災サイトにアクセスできます。
避難所や防災に関することなど、様々な情報を掲載しています。
ハザードマップなども、このサイトから現在地点を表示させながら確認することができます。



長与町公式
スマホ用アプリ



⑤

テレビ





大雨や台風が近づいてきたら、テレビを付けてみましょう。
リモコンの「dボタン」を押すと、最新の気象情報や避難情報、
他市町の状況など、リアルタイムで情報を得ることができます。



4 インターネットを利用した情報取得方法

大雨警報や暴風警報が発表されているとき、インターネットを利用して、河川の水位や雨雲レーダー、台風の進路などの情報を得ることができます。

役場の消防防災係も、災害時には以下のようなサイトを常にチェックしています。

HP名	URL	どんなサイト？
気象庁HP 	https://www.jma.go.jp/jma/index.html	気象情報と言えば気象庁HP。雨雲レーダーや警報級が発表される可能性など、ありとあらゆる情報が掲載されています。「あなたの街の防災」では、自分好みに画面表示をカスタマイズすることもできます。
川の防災情報 	https://www.river.go.jp/index	国土交通省が提供している河川情報サイト。地点登録をしておく、いつでも長与川の水位や長与ダムの貯水位がわかります。河川のライブカメラで実際の川の様子を確認することもできます。
長崎県河川砂防情報システム ナックス (通称:NAKSS) 	www.kasen-sabo.pref.nagasaki.jp/nagasaki/main/index.php	長崎県が提供している河川情報サイト。上記「川の防災情報」と提供情報は重なるところが多いですが、県が各地に設置している水位計からの河川情報や監視カメラ画像、土砂災害危険度情報を確認することができます。
長崎県総合防災ポータル 	https://www.pref.nagasaki.jp/sb/	長崎県が提供している総合防災サイト。県内で発表されている緊急情報や、長崎県に関係のある各地の被害情報を確認できます。その他、防災に関わる様々な情報を掲載しています。

※URLを入力しなくても、お使いのブラウザでHP名を検索することで、サイトにアクセスできます。

5 時津警察署からのお知らせ

昨年は、九州北部地方の梅雨入りが5月11日、梅雨明けが7月13日でしたが、幸いにも、この期間での大きな災害の発生はありませんでした。

ところが、8月に入ると停滞する前線の影響により県内は大雨に見舞われ、8月14日には、長崎市、佐世保市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町に「大雨特別警報」が発表されました。雲仙市では崖崩れにより、3人が亡くなられたほか、西海市では、大雨により増水した用水路で2人が亡くられるなど、大雨がもたらした災害により5人の尊い命が失われました。

近年は災害が激甚化しており、川の氾濫や土砂災害、山崖崩れなど人々の生命を脅かす事態が頻繁に発生しています。災害から身を守るためには、1人1人の「命を守る行動」が最も大切です。日頃から防災意識を高め、災害に対する備えをしましょう。



避難について

各市町発行のハザードマップを確認して、身の回りにどんな災害リスクがあるのか、どこへ避難すればよいのかを事前に把握しておきましょう。

災害が発生した際には、下記のとおり、各市町等から避難情報が発表されますので、避難の参考としましょう。不安や危険を感じたら、早めに避難することがもっとも大切です。

①避難行動の確認など
(警戒レベル1・2)

不安や危険を感じる場合、一時的に避難してください。

②高齢者等避難
(警戒レベル3)

避難に時間を要する人は、危険な場所から避難してください。

③避難指示
(警戒レベル4)

速やかに危険な場所から避難してください。

④緊急安全確保
(警戒レベル5)

命の危険があります。直ちに身の安全を確保してください。

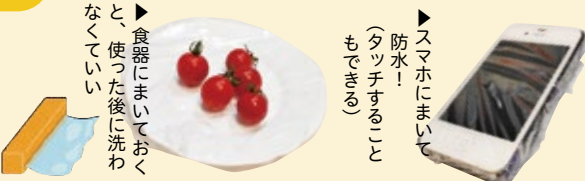
6 知らないより知っていた方がいい防災豆知識

災害に備えることの大切さは、頭ではわかっているけど、なかなか実践できないものです。

今回は、備蓄品に関する豆知識をいくつかご紹介します。

身の回りのもので簡単に、楽しく防災について学んでみましょう！

1 サランラップはとっても便利



サランラップは色々な使い方ができ、これまでの災害でもとても役に立ったそうです。他にも、丸めてスポンジの代わり、ねじってヒモの代わり、カベにはって伝言板にしたりもできます。

2 ゴミ袋も何にでも使える



ゴミ袋はゴミを入れるためのものとしても使えますが、その他にも、水を入れておいたり、レインコートとして使ったり、ひざかけとして使うこともできます。

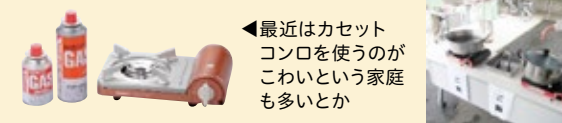
3 ウェットティッシュはありがたい

実際に災害にあわれた方のお話では、手に入って一番嬉しかったのはウェットティッシュだったそうです。水が止まってしまうと、手も洗えず、体もふけず、歯もみがけず、ケガをした傷口をふくこともできません。



◀色々な商品があります
ふだん使いしながら
ストックしましょう

4 カセットコンロが大活躍！



◀最近はカセット
コンロを使うのが
かわいいという家庭
も多いとか

電気やガスが止まってしまっても、カセットコンロがあればお湯をわかすことができ、料理もできます。温かい食べ物は、災害時のピリピリした心にも安心感を与えます。東日本大震災や熊本震災の時も、多くの家庭で活躍しました。

5 モバイルバッテリーを買っておこう

スマホやケータイは、私たちにとって今やなくてはならないものです。電話の他にも、カメラ、ライト、インターネットなど、スマホ1台で何役もこなすことができます。いい時代になりましたね。コンビニや電気屋でいつも見かけるモバイルバッテリーは、災害時には姿を消してしまいます。日頃から備えておきましょう。



6 ホイッスルは持っておこう

万が一、崩れた家の下敷きになった時、いち早く自分の居場所を知らせるには、ホイッスルがとても役に立ちます。日頃から防犯用として持ち歩くのもいいですね。大災害時、消防隊が声かけをして反応がなければ、あとにまわして、次に行ってしまう。だから私たちは、声や音を出して、「私はここにいるよ！」と知らせなければいけないのです。



7 携帯トイレ、使い方わかる？

災害が起こって6時間以内に、約70%の人がトイレに行きたくなるそうです。家にも、避難所にも、水が止まっていたらトイレの水は流せません。日頃から訓練しておきましょう。ちなみに携帯トイレがなくても、ゴミ袋と新聞紙、ネコ砂などがあれば、非常用トイレが作れます。



8 非常食ってどんな味？



非常食と聞くと、味が濃くてあまりおいしくないイメージですが、最近の非常食は、実はおいしいんです！とは言え、作り方や味になれておくためにも、たまに訓練としてご家族などで食べてみてはいかがでしょうか。